



平成28年12月14日

各位

上場会社名 株式会社アウトソーシング  
 代表者 代表取締役会長兼社長 土井 春彦  
 (コード番号 2427)  
 問合せ先責任者 取締役副社長経営管理本部管掌 鈴木 一彦  
 (TEL 03-3286-4888)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年12月14日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年4月28日に公表した平成28年12月期(平成28年1月1日～平成28年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	134,000	5,400	5,100	2,400	137.87
今回修正予想(B)	132,500	3,700	3,300	350	20.04
増減額(B-A)	△1,500	△1,700	△1,800	△2,050	
増減率(%)	△1.1	△31.5	△35.3	△85.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	80,860	3,125	3,224	1,810	110.15

### 修正の理由

平成28年12月期第4四半期累計期間の当社グループの業績につきまして、売上高は、期初想定よりも為替が円高に進んだことによる円換算での目減りが50億円生じていますが、既存のグループ会社の業績が順調に推移しているうえ、期中にM&Aにより新規に連結されるグループ会社の業績が加算されるため、順調に伸長し、1,325億円となる見通しであります。

営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、売上高同様に既存のグループ会社の業績は順調であることに加え、新規に取得した会社の業績も順調に増益寄与しますが、その一方、円高による円換算数値での目減りも2億円近く生じている上、会計基準の変更により前期まではのれんに計上されていた会社取得にかかるアドバイザー費用やデューデリジェンス費用等が第3四半期迄で既に約9億円発生しており、加えて、本日発表の「ドイツOrizon Holding GmbHの株式取得(孫会社化)に関するお知らせ」のとおり、取得にかかる費用9億円の多くも今期計上される見通しです。

この結果、営業利益は37億円となる見通しであり、経常利益は、これらの影響に加えてM&Aに伴う借入金金利や手数料等6億円が生じる影響を受けて33億円となる見通しです。また、当期純利益につきましては、これらのM&Aに関連する費用(金融関連費用は除く)が連結上での処理として税金計算には加味されず、当期純利益の段階まで影響を及ぼすため、3.5億円となる見通しであります。

なお、来期は、今回取得した会社に関する一時的費用の発生がなくなる上、国際財務報告基準(IFRS)に移行することに伴って、今期27億円発生する見通しののれん償却の多くが償却されなくなることから、当社グループの業績もより大きく伸長するものと考えております。

### ※配当予想について

以上のとおり、平成28年度の業績予想は修正いたしますが、配当予想につきましては、M&Aの一過性の費用や為替の影響以外の業績は順調であることから、平成28年2月12日付の平成27年12月期決算短信にて発表しました予想を据え置きます。

(注)本資料に記載しております業績予想等につきましては現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後さまざまな要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上